

設問Ⅰ

問1 次の文の（ ）にあてはまる人物名や語句を解答欄に書きなさい。

- (1) すべての人間にすべての事柄を教える「汎教育」を提唱し、『大教授学』を書き、世界初の絵入り教科書『世界図絵』を書いた今日の視聴覚教育の祖とも言われているチェコの教育学者は（ ）である。
- (2) 人の生まれ持った性質や能力をより良い状態に育て上げることが陶冶という。教育において陶冶には二つの異なるアプローチがある。一つは、学習方法や思考スキルなど、普遍的な能力の育成を目指す（ ）であり、もう一つは、特定の知識や内容の習得を重視する実質陶冶である。
- (3) アメリカの心理学者である（ ）は、行動主義心理学の創始者として知られ、「行動主義宣言」を発表した。

問2 次の文は学校教育法の条文の一部である。(ア) ～ (オ) にあてはまる語句を語群からそれぞれ1つずつ選び、解答欄に書きなさい。

第二十三条 幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な (ア) を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
 - 二 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに (イ) の芽生えを養うこと。
- (以下略)

第三十条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第二十一条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な (ウ) 及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、(エ) その他の能力をはぐくみ、(オ) 的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

【語群】

生きる力	学力	規範意識	コミュニケーション能力	自己肯定感
実践	習慣	主体	積極	体力
適応力	道徳心	人間性	表現力	模範
				知識
				問題解決能力

問3 次の文は教育基本法第十一条及び学校教育法第十六条並びに第三十七条の全文または一部である。(カ) ～ (コ) にあてはまる語句を解答欄に書きなさい。

第十一条 幼児期の教育は、生涯にわたる (カ) 形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

第十六条 (キ) (子に対して親権を行う者(親権を行う者のないときは、未成年後見人)をいう。以下同じ。)は、次条に定めるところにより、子に九年の (ク) 教育を受けさせる義務を負う。

第三十七条 小学校には、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員を置かなければならない。

② 小学校には、前項に規定するもののほか、副校長、主幹教諭、指導教諭、(ケ) 教諭その他必要な職員を置くことができる。

(中略)

④ 校長は、(コ) をつかさどり、所属職員を監督する。

(以下削除)

設問Ⅱ

「記銘」「保持」「再生」の語を用いて、学んだことを思い出すまでの流れを、80字以内で説明しなさい。

設問Ⅲ

教育基本法第十条には「子の教育」「家庭教育」について以下のように定められている。

1. 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
2. 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

この条文を踏まえて、ヤングケアラーも要因の一つとなる「不登校児の増加」の問題について、「家庭・学校・地域が連携して子どもの教育を支える」という観点から、あなたの考えを400字以内で書きなさい。